

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人	平取福社会
障害者支援施設	すずらん
外部サービス利用型 指定共同生活援助	せきえい
就労継続支援事業所	さるがわ

事業報告書 目次

1. はじめに	1
2. 法人全体の総合収支決算について	1
3. 法人本部事業内容について	1
4. 施設運営の基本方針等について	1
5. すずらん施設入所・生活介護及びせきえい事業内容について	2
6. 就労支援事業さるがわの事業内容について	2
(1) 農産事業	2
(2) 林産事業	3
(3) 木工事業	3
(4) 施設外支援事業	3
(5) 受託支援事業	3
7. 障害者支援施設すずらん拠点区分収支決算について	3
8. 添付資料	
(1) 利用者出身別調(資料1)	4
(2) 利用者程度別年齢別調(資料2)	5
(3) 利用者月別利用状況調(資料3)	6
(4) 利用者重複障害状況調(資料4)	6
(5) 利用者障害程度区分判定状況調(資料5)	6
(6) 主な利用者各種行事及び検診等状況調(資料6)	7~9

1. はじめに

平成28年3月31日に社会福祉法の一部を改正する法律が成立し、社会福祉法人の制度改革に伴う、定款の変更、議決機関としての評議員を必置すべく評議員の選任、また、そのための評議員選任・解任委員会の設置をまいりました。

大きな改正のポイントとして、理事会は業務執行の決定機関であり、評議員は運営に係る重要事項の議決機関と位置づけられ、民法の規定により、委任を受けた理事、監事、評議員は、「善良な管理者の注意をもって、委任事務を処理する義務」を負い、このため、理事、監事、評議員は、常勤・非常勤、報酬の有無にかかわらず、その職責に応じた注意義務をもって職務に当たることが求められております。

2. 法人全体の総合収支決算について

資金収支計算書により事業活動収入は、561,635,860円で支出576,821,408円、事業活動資金収支差額-15,185,548円、施設整備等収支・その他の活動収支を含め当期資金収支差額合計は-2,055,908円で決算したところであります。

3. 法人本部事業内容について

平成28年度の本部事業については、理事会6回、評議員会4回の開催となっております。他には定例監査・決算監査併せて定例三役会及び理事長の定例訪問を実施してきたところであります。また法人全体の研修会は1回実施いたしました。

4. 施設経営の基本方針等について

施設経営にあたっては、平取福祉会の「事業の基本方針」及び当施設の「事業計画書」に基づき法人の経営方針を遵守し、すずらん・さるがわ・せきえいがそれぞれの専門的立場に立って地域福祉ニーズに対して、地域社会で生活していくための必要なサービスを十分に受けることができるよう、関係機関との連携を密にし利用者の支援サービスに努めてきたところであります。

また、季節に合った行事や旅行、買物外出、見学会等を実施したところであります。

施設行事の実施にあたっては、利用者の希望を取り入れるなど、利用者本位の運営に努めてきたところであります。

毎年実施しております当施設最大イベントである収穫祭については、晴天に恵まれ町内外から多数のご来場を賜りまた、地域のボランティア団体やすずらん会の協力を頂き盛大の中、終了したところであります。

町内のイベントに積極的に参加し、地域との繋がりにも配慮しながら運営にあたってきたところであります。

また、就労継続支援事業所さるがわにおける収益の増を図るため、担当職員の部門別研修会に積極的に参加し、知識・技能の習得と併せて情報交換にも努めてきました。

更には、職員による虐待報道等があることから、職員会議での虐待防止やコンプライアンスの遵守について取り組んできたところであります。

5. すずらん施設入所・生活介護及びせきえいの事業内容について

施設入所では、車椅子での利用者が増えたことや居室の段差での転倒の可能性がある利用者のため男女の居室それぞれ2居室のバリアフリー化、同じく男女棟のトイレも車椅子でも入れ介助もできるトイレにそれぞれ改造をして、利用者が少しでも安心安全な生活を送れるよう工事をしました。

生活介護では、高齢者や重度者を中心に手先を使った作業や音楽に合わせた健康体操や散歩等主体とした健康維持増進に向けて取り組んで来たところであります。

グループホームについては、せきえい・はばたき・ほろしり・あおぞら・きみかげ・みなもとの6ヶ所を運営して、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体・精神の状況並びに環境に応じて相談・援助や経費削減に取り組んで来たところであります。

個人の尊厳を基本理念に、利用者と職員の心のふれあい、安全確保を重点に捉え、日々のあらゆる場面での支援に努めてきましたが、自活の促進には至っていないのが現状であり、継続的な支援が必要であると考えております。

また、毎年心配しております、0-157やインフルエンザ等の感染症については、うがい、手洗いの励行や自己防衛のための予防接種が功を奏し、感染時期にあっても一人の感染者を出すことなく乗り切ることができました。

6. 就労支援事業さるがわの事業内容について

- (1) 農産事業は、利用者の高齢化に伴う作業能力の低下や、台風の影響で、除草等の管理作業が適期に行えなかったこともあり、減収となっております。

加工品の牛肉コロッケと鹿肉コロッケは、イベントでの販売が功を奏し予算を上回る数の販売ができました。

(2) 林産事業は、イベント販売の落ち込みがひどく減収となっておりますが山の駅、取引先においては、収入増となっておりますが、全体的には、減収となっております。

今年度、札幌市場に出品したシイタケ品評会で「優秀賞」を取ることができ、職員・利用者のやる気アップに繋がりました。

(3) 木工事業は、イベント先の開拓やチラシを送付したことや新製品の企画・販売を積極的に行い九州地方のおもちゃのカタログに掲載され発注が増えました。

また、山の駅でのセールなどの実施で昨年度より収入増に繋がりました。

(4) 施設外支援事業は、実習先の開拓により受け入れ先が増えたことは良かったが、利用者の個人的疾病で入院者が増え稼働日数が減り減収となりました。

(5) 受託支援事業は、施設内調理実習となないろ清掃実習では、洋服仕立て直しの収入が減り予算よりも減収となりました。

7. 障害者支援施設すずらん拠点区分収支決算について

資金収支計算書による事業活動収入は、239,624,466 円で事業活動支出は、235,635,812 円、事業活動資金収支活動差額は、3,988,654 円施設整備等収支・その他の活動収支を含め、当期資金収支差額は-1,197,546 円で決算したところであります。

当初予算で見込んでいた収入は、支援費においては増になりましたが、支出では台風での影響での食材費の高騰等で、赤字決算となっております。

以上平成28年度の事業執行状況について報告いたしましたが、平成29年度は施設職員が、安心して利用者支援に専念できるよう職員の資質向上に努めるよう取り組んで参りたいと考えております。

利用者出身地別調

資料 1

平成29年4月1日現在(人)

市町村名	居住場所						日中活動					
	施設入所			GH/通所			生活介護			就労継続支援B		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平 取 町	6	7	13	6	1	7	6	5	11	6	3	9
日 高 町	3	3	6	1	1	2	4	3	7	0	1	1
新 ひ だ か 町	4	0	4	2	0	2	3	0	3	3	0	3
浦 河 町	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
様 似 町	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
え り も 町	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
日高管内計	15	12	27	9	2	11	15	9	24	9	5	14
厚 真 町	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0
む か わ 町	0	2	2	1	0	1	0	2	2	1	0	1
上 士 幌 町	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
白 糠 町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
釧 路 町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
厚 岸 町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
訓 子 府 町	1	1	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0
清 里 町	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
広 尾 町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
他管内計	4	5	9	4	0	4	3	4	7	5	1	6
芦 別 市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
恵 庭 市	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
函 館 市	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
岩 見 沢 市	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2
釧 路 市	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
江 別 市	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
帯 広 市	1	2	3	0	0	0	0	1	1	1	1	2
苫 小 牧 市	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
富 良 野 市	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	2
千 歳 市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
札 幌 市	5	2	7	3	1	4	4	2	6	4	1	5
市 計	8	6	14	8	4	12	6	5	11	10	5	15
合 計	27	23	50	21	6	27	24	18	42	24	11	35

利用者程度別年齢別調

資料 2

平成29年4月1日現在(人)

障害程度区分 年齢別(歳)	1		2		3		4		5		6		未判定		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
【施設入所者】																	
～19																	0 0 0
20～29							1	1									1 1 2
30～39						1	2	1			1						3 2 5
40～49					4	2	3	3	1	2	1	2					9 9 18
50～59			1		3		1	1									5 1 6
60～69					1	2	1	3	1	3							3 8 11
70～					4		1		1	1		1					6 2 8
計	0	0	1	0	12	5	9	9	3	6	2	3	0	0	27	23	50
【グループホーム者】																	
～19													1		1	0	1
20～29																	0 0 0
30～39			1	1	2												3 1 4
40～49	1		2		3								1		7	0	7
50～59	1		3	3											4	3	7
60～69	1		1	0	2										4	0	4
70～																	0 0 0
計	3	0	7	4	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19	4	23
【通所者】																	
～19													2		2	0	2
20～29																	0 0 0
30～39														1	0	1	1
40～49																	0 0 0
50～59																	0 0 0
60～69				1													0 1 1
計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	4
合 計	3	0	8	5	19	5	9	9	3	6	2	3	3	1	48	29	77
	男		女		合 計												
最低年齢	18		26														
最高年齢	80		78														
平均年齢	50.0		52.0		51.0												

利用者月別利用状況調

資料 3

平成29年4月1日現在(人)

	年月日	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	29	場所
		4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1	4/1	
居住場所	男	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26	26	27	施設入所
	女	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
	計	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	49	49	50	
	男	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	グループホーム
	女	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	計	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	通所
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	
	計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	4	
合計		75	75	75	75	75	75	75	74	74	74	74	75	77	
日中活動	男	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	24	(生 活 介 護)
	女	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
	計	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	42	
	男	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	24	さ る が わ
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	
	計	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	34	35	
合計		73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	74	77	

利用者重複障害状況調

資料 4

平成29年4月1日現在(人)

区分	てんかん	統合失調症	その他の精神疾患	脳性麻痺以外の肢体不自由	視覚・聴覚障害	身体障害	合計	備考
男	14	2	3	1	1 (聴覚)	3	24	
女	5	4	10	1		1	21	
合計	19	6	13	2	1	4	45	

利用者障害程度区分判定状況調

資料 5

平成29年4月1日現在(人)

区分	1	2	3	4	5	6	合計	平均	未判定
男	3	8	19	9	4	2	45	3.20	3
女	0	5	6	8	6	3	28	3.85	1
合計	3	13	25	17	10	5	73	3.45	4

主な利用者各種行事及び検診等の状況調

資料 6

月日	事 項	内 容 等
4	1 開園記念日	開園記念昼食会
	26 環境整備	各班分担園舎屋外周辺の清掃
	27 誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
5	3 GH利用者買物外出	苫小牧市イオン
	12 花見会・誕生会	園舎中庭にてジンギスカンを食べる
	20 健康診断	本施設にて受ける
	24 温泉外出	ゆからに1名外出
	29 温泉外出	ゆからに2名外出
6	1 特定健診	振内町民センターにて
	5 温泉外出	ゆからに6名外出
	6 パークゴルフ	ニセウエコランド8名外出
	6 脳波検査	静内石井病院5回に分け実施
	19 振内小学校運動会見学	8名見学
	19 町民パークゴルフ大会	ニセウエコランドにて4名参加
	19 パークゴルフ交流会	日胆地方会伊達市10名参加
	22 誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
	27 ミニ動物園	すずらん利用者35名参加
	28 日帰り外出	苫小牧イオン買い物10名参加
	29 検診	乳がん検診10名
30 野外食	すずらん・さるがわ野外食	
7	3 振内町民パークゴルフ大会	ニセウエコランドにて8名参加
	4 宿泊旅行～5日	小樽方面3名参加
	5 オンブズマン来訪	利用者3名と面談
	7 パークゴルフ・温泉	ファミリーランドにて8名参加
	8 日帰り外出	苫小牧イオン買い物8名参加
	10 参議院議員選挙	振内町民センター

月日	事 項	内 容	等
7	14	避難訓練	調理室より出火想定、農産班休憩室前へ避難
	12	日帰り外出	十勝川温泉7名参加
	24	日帰り外出	札幌ドーム野球観戦4名参加
	27	温泉外出	ゆからに1名外出
	27	誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
	28	防災訓練	伊達市防災センター5名参加
8	2	未帰省者昼食会	じゃんけんぼん2名参加
	4	未帰省者昼食会	じゃんけんぼん8名参加
	9	個別外出	苫小牧イオン買物1名外出
	13	GH利用者買物外出	札幌買物1名外出
	15	GH利用者買物外出	ゆからに1名外出
9	2	日帰り外出	苫小牧イオン買物5名外出
	10	神社祭典～11日	希望者参加
	18	沙流川まつり	二風谷ファミリーランド 希望者参加者(70名)
	28	誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
	29	未帰省者昼食会	じゃんけんぼん4名参加
10	2	収穫祭	第30回障害者支援施設すずらん収穫祭
	10	体育館祭りパークゴルフ大会	ニセウエコランドにて5名参加
	15	さるがわ利用者買物外出～18	苫小牧イオン周辺33名外出
	16	振内小学校	学習発表会見学 7名参加者
	19	温泉外出	ゆからに1名外出
	26	誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
	28	温泉外出	ゆからに1名外出
	30	サケフレークといくら作り	手をつなぐ育成会主催新冠町6名参加
11	2	芸能発表会(夜)	振内地区文化協会芸能発表会見学 希望者参加
	3	文化祭(日中)	振内地区文化協会作品展見学 希望者参加
	7	インフルエンザ予防接種	振内診療所～12/5
	8	健康診断	本施設にて受ける

月日	事 項	内 容	等
11	9	避難訓練・消火訓練	調理室より出火想定、農産班休憩室前へ避難
	15	宿泊旅行～16日	洞爺湖温泉32名参加
	22	検診	子宮がん検診13名
	30	誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
12	6	餅つき会	利用者餅つき会
	10	日帰り外出	苫小牧イオン買物5名外出
	20	クリスマス会	施設交流ホームにて
	21	誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
	23	温泉外出	ゆからに1名外出
1	25	誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
2	19	日帰り外出	富川買物3名外出
	21	冬期レクレーション	交流ホームでゲーム、昼食は鍋料理を食べる
	22	誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
	23	日帰り外出	苫小牧イオン買物7名外出
	26	日帰り外出	札幌買物3名外出
3	9	慰労会	すずらん 交流ホームで焼肉・カラオケ参加者(40名)
	9	慰労会	さるがわ 二風谷温泉 参加者(34名)
	17	日帰り外出	平取本町買物1名外出
	19	日帰り外出	苫小牧イオン買物1名外出
	20	GH避難訓練	グループホーム利用者
	22	誕生会	誕生者希望メニューで施設の食堂で食べる
	25	日帰り外出	苫小牧イオン買物1名外出
毎月	朝会／診察	朝会＝月1回／診察＝月1回石井病院医師来園33名受診	

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会
特別養護老人ホーム平取かつら園
びらとりデイサービスセンター

目 次

1. はじめに	1 P
2 施設経営について	1 P
(1) 各事業の利用状況について	1 P
(2) 生活の場づくりとサービスの向上について	1～2 P
(3) 職員組織と機能強化について	2 P
(4) 財務（会計）管理について	2 P
(5) 食事サービスについて	2 P
(6) 入浴サービスについて	3 P
(7) 保健・医療サービスについて	3～4 P
(8) リハビリテーションについて	4 P
(9) 行事及びレクリエーションについて	4 P
(10) 地域交流サロンについて	5 P
(11) ボランティア活動について	5 P
(12) 防災・事故防止について	5 P
(13) その他	5 P
(14) 各事業実績（平成29年3月31日現在）について	6～7 P
①施設利用者利用状況	
②施設利用者介護度状況	
③施設利用者日常生活動作～寝たきり度	
④施設利用者認知症日常生活自立度	
⑤施設利用者出身地別構成	
⑥施設利用者年齢構成	
⑦短期入所者利用状況	
⑧デイサービス利用者利用状況	
⑨食の自立支援事業（給食サービス）利用状況	
⑩地域交流サロン「かつら」利用状況	
3 利用者行事等の実施状況について	8～9 P

1 はじめに

超高齢社会が進む中、介護を必要とする方々が住み慣れた地域社会で安心して生きがいを持って生活できる平取町の高齢者福祉の拠点となることを目指し、平成元年4月に特別養護老人ホーム平取かつら園及び短期入所(ショートステイ)が開設、また、平成8年4月には、在宅福祉サービスとしてデイサービスセンターを開設しました。また、平成29年1月10日からは介護予防の目的で地域交流サロンを開始し、地域の期待と役割を担い28年を経過したところであります。

開設以来、平取かつら園も地域福祉の推進・充実した施設福祉を目指し、貴重な経験と実績を生かしながら、専門的機能と福祉人材を活用し、在宅福祉についてもこれまで以上に寄与してきたところでありますが、平成12年の介護保険制定から3年毎の介護報酬の改正があり、改正毎に報酬単価が下がってきており、施設経営が非常に厳しい時代となります。

経営報告にあたりましては、平取町をはじめ各関係機関、団体、地域住民の方々、町内外のボランティアから寄せられました多大なるご支援と温かいご高配に心から感謝とお礼を申し上げますと共により一層のご支援・ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 施設経営について

平成28年度の施設経営にあたりましては、法人の「経営の基本方針」並びに、当施設の「経営計画」に基づき、施設利用者のニーズを十分に取り入れ利用者の立場に立った生活、生きがいの場であるという「利用者本位」の考え方に立って、より良い介護サービスの提供に努めてまいりました。

(1) 各事業の利用状況について

平成28年度の施設利用実績については、例年に比べ退所者が多い状況であり、早目の利用者の入退所の入替えに努力していましたが、利用実人員が61名、この1年間の利用延べ人数は17,825人となっており、施設の年間計画目標稼働率は98%に対し97.67%の実績となり、やや少なめの結果となりました。

なお、平成28年度中に、長期入院や死亡等で退所された方は12名(男性5名、女性7名)となっており、入所待機者の状況については、地域の高齢化が進むなか在宅福祉の推進もありますが、平成28年3月31日現在では24名(男性10名、女性14名)となっております。

ショートステイ事業については、利用実人員が35名、利用延べ人数が1,271人、一日の平均利用者数は3.48人になっており、当初計画の利用者数を確保できず、前年度(1,678人)より利用者が407人の減少となっています。

デイサービス事業については、利用実人員が83名、開設309日、利用延べ人数は5,909人となり、一日の平均利用者数は19.12人になっており、利用者の拡大を行っていましたが成果はせず、前年度(6,059人)より利用者150人の減少した結果となっております。

ショートステイ事業・デイサービス事業(居宅サービス)についての利用者数が減少した原因として、利用者が死亡・入院・施設に入所した方が多かったことで利用頻度が減少したものと考えられます。

平取町社会福祉協議会から委託されている高齢者世帯への給食サービス(食の自立支援事業)については、前年度(4,323食)に対し2,930食となり、1,393食の大幅な減少となっています。

なお、各事業の利用状況の詳細については、6~7Pをご参照願います。

(2) 生活の場づくりとサービスの向上について

施設利用契約に基づき生きがいと喜びにつながる生活の場づくりと質の高いサービスの向上を図り、

施設利用者一人ひとりの人格と人権を尊重し、更には福祉ニーズの把握に努め、心の通った適切なサービスになるよう、計画・実行(実践)・反省(評価)・改善のシステムを取り入れながら実践してまいりました。

(3) 職員組織と機能強化について

施設経営の円滑かつ効率化を図るため職員組織の充実と機能強化に進めてきましたが、反省にたつて職員組織の見直しや職員としての意義・意欲等についても問い直し、マンネリ化を防ぐためにも、人間関係の再構築、職務に対する認識を再確認する必要があります。

全国的にも介護員・看護師の離職が深刻な社会的な問題となっており、当施設でも介護員の離職が多く、今後は、離職しないための働きやすい職場の環境づくりが課題としてあげられます。

職員研修について、介護職員専門研修・新任介護研修などを受講し、職員自身の意識・質の向上を図り、利用者に対してサービスの質の向上のために、諸会議、各種委員会、経営の適切化を推進してまいりました。

(4) 財務(会計)管理について

平成28年度の平取かつら園拠点区分会計については、利用人員の実績が減少した結果に伴うことと介護報酬の改正による単価が下がったことにより収入が減収並びに介護度の軽い方の利用が多かったことでの収入も下がる、また、施設の老朽化に伴い施設内部改修工事(壁紙の張替等)に積立金を取崩して資金に充当したことがあげられます。

決算につきましては、平取かつら園サービス区分から短期入所サービス区分、デイサービスサービス区分に積立金を取崩して繰入し、短期入所サービス区分とデイサービスサービス区分の収支差額を0円で処理しました。

今後の施設経営につきましては、介護報酬が下がることが予想され、益々、施設経営が困難となり、施設運営に対しての経費節減を実施し、国の動向を的確に把握しながら健全な施設経営ができるよう平取町及び法人と協議しながら進めていきたいと考えております。

(5) 食事サービスについて

施設利用者への食事サービスは、保健・医療サービスとともに直接的に生命にかかわるサービスであり、利用者にとっても最も楽しみにしているものです。また、常に食品衛生面に注意しながら、施設利用者の健康状態や嗜好の状況を把握し、一人ひとりがより美味しく、より楽しく食事をしていただくよう配慮しながら提供できるよう努力を重ねておりますが、利用者の重度化に伴い、誤嚥がないか、喉つまりがないか目が離せない方が増えている現状です。

施設利用者の食事サービス状況は、次のとおりとなっております。

(人)

	普通食	粥食	刻み食	極刻み食	ミキサー食	経管栄養
男	3	10	5	5	0	0
女	10	22	13	7	6	3
計	13	32	18	12	6	3

(一部重複)

(6) 入浴サービスについて

施設利用者への入浴は、生きがいづくりのひとつとしてサービスの重点にあげながら清潔感、爽快感を味わってもらおうと共に、機能訓練も兼ねて介助、援助にあたっています。平成28年度も、月・火・木・金曜日を入浴日として、一般入浴、車椅子入浴、ストレッチャー入浴の3種類に分けて、最低、週2回施設利用者全員に入浴していただいております。状況に応じた介助にあたっています。

なお、入浴の状況は次のとおりとなっております。

(人)

一般入浴		車椅子入浴		ストレッチャー入浴	
男	女	男	女	男	女
4	9	6	16	3	12
13		22		15	

(7) 保健・医療サービスについて

施設利用者の健康を保持・管理し、疾病状況に対応する保健・医療サービスは、常勤の看護師3名が日常的に健康チェックしながら嘱託医と相談し指示を受けながら看護にあたっています。

嘱託医（平取町国民健康保険病院長・内科医長）については、週1回（平日）に来園し、回診を行う一方、平取町国民健康保険病院と連携を保ちながら施設利用者の疾病の程度に応じて、与薬・通院・入院の処置をとってもらっていますが、どの利用者についても、疾病・障害をもっていますので、いつ何時、体調が急変する可能性があり、昼夜にわたりオンコール体制を強化しているところです。

今後は、更に保健・医療サービスについても、利用者の疾病状態を常に把握しながら適切な処置・対応ができるように努めてまいります。

なお、通院・入院状況は次のとおりとなっております。

①月別通院状況

(延人)

	平取町国保病院			苫小牧市内の病院			平取町内の歯科医院			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4月	7	21	28	1	1	2	0	0	0	30
5月	0	16	16	3	0	3	0	0	0	19
6月	2	10	12	5	0	5	0	0	0	17
7月	7	8	15	1	1	2	0	0	0	17
8月	19	22	41	3	0	3	0	2	2	46
9月	5	10	15	3	3	6	0	0	0	21
10月	4	14	18	0	1	1	0	0	0	19
11月	3	9	12	4	0	4	0	0	0	16
12月	3	7	10	3	0	3	0	0	0	13
1月	4	15	19	2	1	3	0	1	1	23
2月	3	17	20	5	1	6	0	0	0	26
3月	5	13	18	1	0	1	0	0	0	19
延数	62	162	224	31	8	39	0	3	3	266

※3か月毎のしのじま皮膚科・たに眼科（苫小牧市）の往診診療の延人数は除いています。

②通院時の受診科実数及び入院実数

(人)

受診科別実数				月別入院者実数			
受診科別	男	女	計	月	男	女	計
内 科	44	62	106	4月	1	0	1
外 科	12	21	33	5月	1	3	4
整形外科	0	43	43	6月	1	1	2
もの忘れ外来	5	3	8	7月	1	5	6
循環器内科	0	2	2	8月	2	3	5
泌尿器科	24	3	27	9月	3	2	5
皮膚科	1	27	28	10月	2	0	2
眼 科	0	1	1	11月	0	1	1
脳神経外科	1	0	1	12月	1	2	3
精神科	8	3	11	1月	1	1	2
歯 科	0	3	3	2月	1	2	3
				3月	3	2	5
計	95	168	263	計	17	22	39

入院者実数	39人	入院延日数	381日
-------	-----	-------	------

(8) リハビリテーションについて

施設利用者につきましては、日常生活動作をリハビリテーションの一環と位置付け、生活の活性化を図り、生活にアクセントを持たせ、機能回復などにも努め適切に対応した介助ができるよう研究、実践を重ねてまいりました。

デイサービスでは、作業療法士を雇用し、身体機能の訓練を行うことで、住み慣れた地域で少しでも長く在宅生活が継続していただけるために努めてまいりましたが、10月より作業療法士が育児休業のため個別機能訓練加算を休止してる状況であり、現在では、職員が日常生活動作をリハビリとして努めています。

(9) 行事及びレクリエーションについて

季節的行事及びレクリエーション、特別行事なども企画実施し、単調な生活にならないよう変化を持たせ、期待感をもった楽しい生活になるよう創意工夫をこらしながら実施してきております。

また、歌・舞踊などの観賞会については、地域のボランティアグループ、特別支援学校・中学生の方たちの訪問などがあり、施設利用者との交流を深めながらの行事を継続しています。

今後はさらに施設利用者の実態に応じながら、行事そのものの見直しを行い、内容、方法などにも検討を加え、生きがいと楽しみにつながるような行事・レクリエーションとなるよう工夫し実施していきます。

なお、当施設のメイン行事として、地域とのふれあい交流を促進し、理解と協力を得る行事として『第26回かつら園まつり』は7月24日開催し、施設利用者の家族をはじめとして、多くの地域の方々の参加を得て盛會に終えることができました。

(10) 地域交流サロンについて

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人の公益活動の責務の義務化に伴い、平成29年1月10日より平取生活館にて、少しでも住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができる町づくりの一環として、地域交流サロンを毎週火曜日に2時間程度実施しています。

平均20名程度（本町地区）の利用があり、介護予防体操を中心に活動していますが、職員だけで活動することではなく、ボランティア・町保健福祉課の支援を受けながら実施していますが、利用者からの反響がよく、参加希望の利用者が増えつつあります。

これにより、本当の意味での平取町における高齢者福祉の拠点となるよう目指してまいります。

(11) ボランティア活動について

善意あふれる地域ボランティア活動は、施設利用者のサービスの向上、ふれあい地域交流・生きがいづくりの大きな支えとなっております。

園定例行事の特別行事には必ずといってよいほどボランティアグループの方々が来園され、大きな喜びや楽しみを与えてくださいましたし、訪問ボランティアばかりでなく、作業ボランティアの方々も定期的に来園され、窓ふき、オムツたたみなどの清掃活動も行って頂いたほか、施設利用者との交流により、福祉施設に対する理解が一段と深められたものと思います。

(12) 防災・事故防止について

災害は予期もせずによってきますので、施設利用者・デイサービス利用者の「生命安全」を第一に防護・防災計画を立て、日常的な火災予防、生活安全、交通安全の意識の高揚とともに防護・防災体制の確立、避難訓練の実施など万全を期してまいりました。日中における火災想定避難訓練は6月15日実施、夜間における火災想定避難訓練は11月30日、自然災害避難訓練は3月8日にそれぞれ消防署の指導を受け実施しております。

(13) その他

広報紙『かつら園だより』（年2回発行）や『デイサービスだより』（年2回発行）を通じて、施設利用者、デイサービス利用者及びその家族に運営状況を知っていただき、理解、支援、協力関係を更に深めるよう努力をしてまいりました。今後も更に広報活動なども活発にしていきたいと考え、施設利用者・デイサービス利用者の方々の生活に安心・潤い・ゆとりをもってもらい、平取かつら園が地域の高齢者福祉の拠点として、また、地域住民の方々にとってもひとつの憩いの場としてふさわしい環境整備に努めてまいります。

(14) 各事業実績（平成29年3月31日現在）について

① 施設利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成28年	稼働率	101.53%	97.61%	99.20%	97.35%	93.87%	97.13%	96.26%
	利用延数	1523	1513	1488	1509	1455	1457	1492
平成27年	稼働率	96.13%	97.68%	97.47%	94.00%	94.32%	98.40%	98.00%
	利用延数	1442	1514	1462	1457	1462	1476	1519
比較	稼働率	5.40%	-0.07%	1.73%	3.35%	-0.45%	-1.27%	-1.74%
	利用延数	81	▲ 1	26	52	▲ 7	▲ 19	▲ 27

年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年	稼働率	98.47%	98.52%	97.16%	97.93%	97.23%	97.67%
	利用日数	1,477	1,527	1,506	1,371	1,507	17,825
平成27年	稼働率	99.13%	100.06%	101.03%	98.90%	100.97%	98.01%
	利用日数	1,487	1,551	1,566	1,434	1,565	17,935
比較	稼働率	-0.66%	-1.54%	-3.87%	-0.97%	-3.74%	-0.34%
	利用延数	▲ 10	▲ 24	▲ 60	▲ 63	▲ 58	▲ 110

(延人)

② 施設利用者介護度状況

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
平成28年	0	4	9	23	14	50	3.94
平成27年	0	4	11	18	18	51	3.98

(人)

③ 施設利用者日常生活動作～寝たきり度

年度	自立	軽度		準寝たきり		寝たきり				合計
		J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	
平成28年	0	0	0	1	9	16	12	3	9	50
平成27年	0	0	0	0	11	12	11	7	10	51

(人)

④ 施設利用者認知症日常生活自立度

年度	自立	軽度	中度	重度	合計
		(I)	(II a ~ II b)	(III a ~ M)	
平成28年	0	1	9	40	50
平成27年	0	0	13	38	51

(人)

⑤ 施設利用者出身地別構成

地区	男	女	計
川 向	1	0	1
紫雲古津	0	3	3
去 場	1	4	5
荷 菜	1	1	2
本 町	3	12	15
二風谷	2	2	4
貫気別	0	5	5
芽 生	1	1	2
長知内	0	1	1
幌毛志	0	1	1

地区	男	女	計
振内町	3	3	6
岩知志	0	1	1
平取町内計	12	34	46
日高町	1	1	2
苫小牧市	0	1	1
大阪市	0	1	1
平取町外計	1	3	4
合計	13	37	50

(人)

⑥ 施設利用者年齢構成

区分	男	女	計
65才～69才	1	0	1
70才～79才	2	1	3
80才～89才	5	18	23
90才～99才	5	16	21
100才以上	0	2	2

(人)

平均年齢	
男	84.92才
女	89.84才
全体	88.56才

⑦ 短期入所利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成28年	一日平均	5.20	5.10	3.20	3.10	2.55	3.00	3.10
	利用者数	156	158	96	96	79	90	96
平成27年	一日平均	4.83	4.42	4.27	4.42	4.87	5.57	5.97
	利用者数	145	137	128	137	151	167	185
比較	一日平均	0.37	0.68	-1.07	-1.32	-2.32	-2.57	-2.87
	利用者数	11	21	▲ 32	▲ 41	▲ 72	▲ 77	▲ 89
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成28年	一日平均	3.43	2.90	3.74	2.96	3.48	3.48	
	利用者数	103	90	116	83	108	1,271	
平成27年	一日平均	5.03	5.29	4.03	2.69	3.55	4.58	
	利用者数	151	164	125	78	110	1,678	
比較	一日平均	-1.60	-2.39	-0.29	0.27	-0.07	-1.10	
	利用者数	▲ 48	▲ 74	▲ 9	5	▲ 2	▲ 407	

(延人)

⑧ デイサービス利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成28年	一日平均	18.69	19.50	20.08	18.62	17.69	17.31	18.31
	利用者数	486	507	522	484	460	450	476
平成27年	一日平均	20.38	19.85	19.96	19.48	18.00	18.81	19.48
	利用者数	530	516	519	526	468	489	526
比較	一日平均	-1.69	-0.35	0.12	-0.86	-0.31	-1.50	-1.17
	利用者数	▲ 44	▲ 9	3	▲ 42	▲ 8	▲ 39	▲ 50
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成28年	一日平均	18.85	20.19	21.08	19.96	19.41	19.12	
	利用者数	490	525	506	479	524	5,909	
平成27年	一日平均	19.52	19.65	19.13	19.84	19.67	19.48	
	利用者数	488	511	459	496	531	6,059	
比較	一日平均	-0.67	0.54	1.95	0.12	-0.26	-0.36	
	利用者数	2	14	47	▲ 17	▲ 7	▲ 150	

(延人)

⑨ 食の自立支援事業(給食サービス)利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成28年	利用食数	262	280	290	284	281	261	238
平成27年	利用食数	498	510	503	339	295	316	352
比較	利用食数	▲ 236	▲ 230	▲ 213	▲ 55	▲ 14	▲ 55	▲ 114
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成28年	利用食数	221	225	173	197	218	2,930	
平成27年	利用食数	323	355	256	273	303	4,323	
比較	利用食数	▲ 102	▲ 130	▲ 83	▲ 76	▲ 85	▲ 1,393	

(延食)

⑩ 地域交流サロン「かつら」利用状況

年度	項目	1月	2月	3月	合計	1回あたりの 平均利用者数
平成28年	開催回数	4	4	4	12	
	利用者数	50	90	107	247	

(延人)

3. 利用者（平取かつら園・デイサービス） 行事等実施状況について

月 日	行事等	内 容 等
4 月 1 日	平成28年度開始 (開園記念日) 在宅サービス	ホーム利用者51名(男14名女37名)・(ホーム35名デイ14名 計49名)で事業開始し、昼食時に開園28周年を祝う。 施設サービスと併せショートステイ事業・デイサービス事業を開始する。また、食の自立支援事業(平取町社会福祉協議会から委託)開始する。
	医師の回診	週1回、ホーム利用者の健康管理のため、平取町国民健康保険病院の院長・内科医長が来園し、回診を実施する。
	医師の往診	3ヶ月に1回苫小牧市のしのじま皮膚科・たに眼科が往診をいただいている。
	園内定例入浴	通年で週4回(月・火・木・金)の定例入浴を実施する。
	理 髪	毎月1回、本町の植木理容院が理髪のため来園する。
	ボランティア	毎週火曜日にボランティアサークル「かつら会」2～4名洗濯たみ等で来園する。
	誕生会	毎月、ホーム・デイサービスで実施する。
	辞令交付式	理事長より新年度の挨拶及び辞令交付式(昇格・昇給等)を実施する。
	健康診断	ホーム利用者の健康診断開始(8回に分けて実施)する。
29 日	ボランティア	天理教窓ふきボランティア6名が来園し実施する。
5 月 6 日	デイ行事	デイ買い物ツアー(むかわ町パセオ)を31日まで実施する。
8 日	母の日	宇南山商事よりホーム女性利用者に花束プレゼントされる。
22 日	地域行事	フラワータウンフェスタ(義経街道花の応援団)に職員5名参加する。
26 日	寄 附	日高西部農協機械センターよりチャリティー募金112,300円の寄附を受ける。
6 月 15 日	避難訓練	ホーム・デイ合同による日中想定避難訓練を実施する。
16 日	デイ行事	デイ焼肉週間を24日まで実施する。
19 日	父の日	宇南山商事よりホーム男性利用者に花束プレゼントされる。
22 日	園内レク	ホーム焼肉昼食会を実施する。
22・29 日	ボランティア	平取養護学校3年生、清掃活動ボランティアを実施する。
7 月 6 日	不在者投票	参議員議員選挙不在者投票を実施する。
17 日	ボランティア	天理教窓ふきボランティア13名が来園し実施する。
24 日	施設行事	第26回かつら園まつり実施する。
8 月 15 日	園外レク	義経神社祭典のため、8町内の子供による神輿が来園する。
25 日	ボランティア	平取養護学校3年生、清掃活動ボランティアを実施する。
27 日	地域行事	平取町社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」職員3名参加する。
9 月 1 日	ボランティア	平取養護学校2年生、清掃活動ボランティアを実施する。
8 日	デイ行事	デイ敬老週間を16日まで実施し、長寿を祝う。
18 日	寄 附	びらとり苫小牧会37名来園し「樽前文庫」として3万円の寄附を受ける。
21 日	施設行事	ホーム敬老祝賀会を実施し、長寿を祝う。
26 日	職員健康診断	職員健康診断開始(6回に分けて10/5まで実施)する。
28 日	園内レク	平取婦人会4名が来園し、舞踊を観覧する。

月 日	行事等	内 容 等
10月3日	デイ行事	デイ買い物ツアー（むかわ町バセオ）を31日まで実施している。
6日	健康診断	ホーム利用者の健康診断開始（8回に分け26日まで実施）する。
25・26日	職場体験実習	平取中学2年生3名、デイにて職場体験実習を実施する。
11月2・3日	園外レク	ホーム利用者5名、平取町文化祭見学する。
4日	園内レク	平取中学3年生の合唱を施設食堂にて試聴する。
9日	ボランティア	平取養護学校2年生、清掃活動ボランティアを実施する。
16日	園内レク	紫雲古津老人クラブ演芸部6名による歌・舞踊を見学する。
30日	避難訓練	ホーム・デイ合同による夜間想定での避難訓練を実施する。
12月14日	園内レク	ホームクリスマス会を実施し、友カラオケ教室4名来園する。
15日	デイ行事	デイクリスマス週間を21日まで実施する。
31日	園内レク	ホーム夕食時に、年越会を実施する。
1月1日	園内レク	ホーム朝食時に、新年交礼会を実施する。
10日	地域交流サロン	地域交流サロン「かつら」事業開始し、介護予防等の活動を毎週火曜日、平取生活館で実施する。
19日	デイ行事	デイ新年親睦週間を実施する。
25日	園内研修	静内保健所保健師を講師として感染症について研修を実施する。
2月1日	デイ行事	デイ豆まき（節分）週間を7日まで実施する。
3日	園内レク	ホーム豆まき（節分）実施する。
7日	寄贈	公益社団法人苫小牧地方法人会平取支部より車椅子を寄贈受ける。
3月8日	避難訓練	ホーム・デイ合同による自然災害想定での避難訓練を実施する。
	職員健康診断	職員健康診断開始（5回に分けて3/23まで実施）する。
15日	園内レク	ホーム食堂にて茶話会を実施する。
25日	デイ行事	デイ一年間通所ご苦労様週間を31日まで実施する。
31日	平成28年度終了	<p>①特別養護老人ホーム事業 男性13名・女性37名 計50名</p> <p>②ショートステイ事業 年間延利用者数 1,271名 実利用者数35名 1日平均利用者数 3.48名</p> <p>③デイサービス事業 年間延利用者数 5,909名 1日平均利用者数 19.12名 年間開催日数 309日 年度末登録人数83名（予防37名・介護46名）</p> <p>④食の自立支援事業（平取町社会福祉協議会からの委託） 年間延食数 2,930食</p> <p>⑤地域交流サロン事業 平成29年1月10日事業開始 1～3月の延利用数 247名（12回開催） 1回平均利用者数 20.6名</p>

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会
軽費老人ホーム

ケアハウス しずか

目 次

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 経営目標における反省・評価・改善について・・・・・・・・ P 1～P 3
 - (1)入所者処遇について
 - (2)職員について
 - (3)施設経営について
 - (4)防災について
 - (5)地域との連携・交流について
 - (6)同法人各施設との連携及び交流について
3. 運営計画における反省・評価・改善について・・・・・・・・ P 3～P 17
 - (1)事業の目的
 - (2)事業の内容
 - (3)日課表
 - (4)年間行事計画
4. 研修計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 18
 - (1)施設内研修
 - (2)施設外研修
5. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 18～P 19
 - (1)入所者年代構成表
 - (2)入所者前住所別構成表
 - (3)入所者要介護度構成表

1. はじめに

わが国における高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は26.7%に上昇し、「65～74歳人口」（前期高齢者）は1,752万人、総人口に占める割合は13.8%、「75歳以上人口」（後期高齢者）は1,641万人、総人口に占める割合は12.9%となっており、平成72（2060）年には65歳以上の高齢化率は39.9%に達し、2.5人に1人が65歳以上になると見込まれております。平取町における高齢化率は全国平均を大きく上回っており、今後とも増加傾向にあることから、高齢者の特性に配慮した住みよい住居を提供し、入所者の自主性を尊重することを基本に、自立した生きがいのある生活が送れるよう支援することを基本方針として「ケアハウスしずか」を開設したところであります。

開設から13年が経過し、自立されていた入所者の方々も次第に身体機能が低下し、介護や見守りが必要な方が増加傾向にあることから、一人ひとりの現状と福祉ニーズの把握に努め、より一層の充実したサービスが提供できるよう取り組んできているところであります。

平成28年度の事業報告にあたり、平取町をはじめ関係諸機関、団体、地域の方々等より、多大なるご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

2. 経営目標における反省・評価・改善について

開設13年目に当たる今年度は、入所者一人ひとりの現状と福祉ニーズの把握に努め、より一層の充実したサービスの提供に努めてまいりました。

(1)入所者処遇について

平成28年度は、定員の20名（男性5名、女性15名）で事業がスタートしています。この一年間の入所者の動向として、退去者が1名（内訳としては他の施設へ1名）・新規入所者1名（女性1名）であり、3月31日現在、男性5名・女性15名の計20名となっています。

このようなことから、比較的健康的な高齢者とはいえ、緊急時の対応や欠員が生じた場合の対処などに万全を期してきたところであります。

緊急時対応については、マニュアルを作成し、日々その確認に努めていますし、退去後の補充は、入所判定会議の結果に基づき速やかに次の入所者が入所できるように対応してまいりました。

施設内の生活については、日々の職員と入所者との会話やアンケート調査等を通し、入所者のニーズを把握し、明るく楽しい生活が送れるよう支援を行い、介護予防を考慮した健口体操や脳トレ、レクリエーション、季節行事を積極的に取り入れ、また、入所者個人の趣味・嗜好・自主的な活動に対しては、生きがいを持ち、楽しく取り組めるよう、側面から支援をしてまいりましたが、高齢化に伴いレクリエーションの参加人数は減少傾向にあることから、新しい事業の導入について検討していかねばならないと考えております。

(2)職員について

施設長1名、生活相談員1名、介護員2名の計4名で運営してまいりました。ケアハウスは生活の場であり、人と人とのふれあいの場でもあります。したがって、職員は福祉専門職としての知識や技術の向上のみならず、人間や生命の尊厳、人間的共感や愛情、人を思いやる心など基本的な人としての資質の向上に努めることが求められております。本年度は研修や講習会への参加機会が少なかったですが、書物、文献等を通し、専門知識や技術を身につけ、福祉行政の動向にも着目し施設職員としての資質の向上に努めると同時に、日常の生活や入所者とのふれあいを通して、人としての資質の向上を図ってきたところであります。

また、定例の職員会議等で、互いの業務を理解するとともに、施設運営に対し、共通認識を持ち業務に当たってきたところであります。

(3)施設経営について

会計基準を遵守しながら会計事務所の定期的な指導のもとで予算の適正な執行と、可能な限りの経費節減に努めながら対応したところであります。平成28年度では、資金収支の収入は45,761千円、支出については45,805千円で、今年度末資金収支差額につきましては△44千円となり、前年度より2,282千円の減となっております。開設13年を迎え各所修繕費の支出増加によるもので、今後とも、施設の維持管理、設備の修繕に多額な費用も必要となり、さらに厳しい運営となる状況であります。

(4)防災について

今年度についても昨年同様に、東日本大震災を教訓に自然災害、火災マニュアルに基づき災害を想定し年3回消防職員の指導・立会いの下、避難・防災訓練を実施し職員の意識の高揚を図るとともに入所者への意識付けを行っています。

現在の入所者は、自己判断も可能であります。自力での避難が難しい方もおります。今後更に自力避難が難しい方が増加すると推測されますので、近隣町内会への避難時の協力、スプリンクラー設置等を考慮していかなければならないと思われま

(5)地域との連携・交流について

入所者の健康と安全を考慮し、今年度においても歯科衛生士による口腔衛生講習や、保健師による健康相談、町生活安全係職員による交通安全講習など、関係機関の協力を得て実施をしてまいりました。

また、町内行事については、情報を提供し参加を呼びかけ、施設内行事では地域のボランティア団体を誘致するなど、連携・交流を図ってまいりました。

このような活動を足がかりに、地域との連携・交流を広めていきたいと考えています。

(6)同法人各施設との連携及び交流について

管理職会議等で各施設より多くの助言、ご協力をいただきながら、連携・親睦を図っておりますし、今後も相互協力していきたいと考えています。

なお、平成16年9月より就労支援事業所さるがわの利用者3名の職場実習を受け入れております。

3. 運営計画における反省・評価・改善について

開設13年目に当たる今年度は、入所者1名の入れ替えがあり、なお一層新たなコミュニケーションが図れるよう、レクリエーションや季節行事などを行い交流の場を提供してきました。

(1)事業の目的

在宅高齢者の自立支援対策の一環として、様々な事情から居宅で生活することが困難になった高齢者に対し、低料金で住居を提供し、併せて食事や入浴のサービスを提供することによって心身共に充実した明るい生活を送ることができるよう支援することを事業の目的としてまいりました。

(2)事業の内容

①入所者

入所者の条件は60歳以上の方で家庭や住宅の事情により、家族と同居することが困難な自立した日常生活が可能な方とする。20の居室については、入退去者がいる中、絶えず満室となるよう努めてまいりました。

②利用料

入所者利用料基準に基づいて徴収する。福祉サービスなどの利用料金は全額本人負担。

③利用定員

20名（内夫婦部屋2組）

④サービス内容

ア. 相談・助言等

入所者の人生経験や生活歴、境遇等からくる人間性や自尊心を尊重し、まず話を聞くことを第一と考え、個人的な問題や心配事、共同生活上の人間関係などの

諸問題、福祉ニーズ等各種相談に応じるとともに適切な助言等に努めています。また、体力的・精神的に自立した生活を保持・継続することを考慮し、できるだけ助言のみにとどめ、答えや結論に関しては職員側からの押し付けはせず、自主的・自発的にご本人が判断できるよう行ってまいりました。

更には、アンケート調査や懇談会を開いたり、日常生活の中でニーズの把握に努め、共同生活の利点を守りつつ、入所者一人ひとりが充実した生活をしていただけるよう、きめ細やかな対応を心掛けてまいりました。

資 料

※生活アンケート(H28年12月実施)

・回答数 20名中/15名回答

◎入浴について

設 問	答 え
浴室や脱衣室等の使い勝手はいかがですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・良い 8名 ・問題はない 1名 ・快適です 1名 ・無回答 5名

◎レクリエーション(施設内ゲーム・手芸・ぬりえなど)について

回数	<ul style="list-style-type: none"> ・多い 3名 ・良い 10名 	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない 0名 ・無回答 2名
選んだのはどんなレクリエーションですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・脳トレ 3名 ・カラオケ 4名 ・すべて 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内ゲーム 3名 ・ぬりえ 1名 ・あまり難しくないもの 1名 (複数回答)
その他にやりたい事はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句 1名 ・百人一首 1名 	
いきいき100歳体操は参加されたいですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したい 9名 ・運動はしたくない 3名 	<ul style="list-style-type: none"> ・たまになら参加したい 5名 ・無回答 3名

◎季節の行事(花見会・敬老会・クリスマス会)及び誕生会・昼食会・ドライブ等について

春に遠足を行事に組み入れましたが今後参加されたいですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したい 13名 ・無回答 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらでもいい 1名
買い物の回数はいかがですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・今のままでいい 3名 ・もう少し増やしてほしい 5名 	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答 5名
季節の行事で何か気づいた事などあれば書いて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい事はたくさんあった方がいい。 ・急な行事が周知されていない。出来れば前日に周知してほしい。 ・四季折々連れ出してくれて有り難うございます。 ・これまでの行事は全て満足しています。 	

◎共有場所（多目的トイレ・談話室・交流室・洗濯室・食堂・ふれあいスペース・浴室など）について

清潔で気持ちよく使用できますか？	・はい 11名 ・いいえ 3名 ・どちらともいえない 3名 ・無回答 1名
しずかの生活でいくつか規則がありますが、何か気づいた事があれば書いて下さい。	・団体生活である事を忘れないで。

◎職員について

親切に対応してくれますか？	・良い 15名
施設に対する不満や要望を気軽に言うことができますか？	・言える 6名 ・言いづらい 3名 ・言いやすい 3名 ・無回答 3名
その他、ご意見、ご要望がありますか？	・入浴はシャワーの後の洗い場、手すり、蛇口に髪の毛が付いている事がある。 ・いつも食事もおいしく、お世話になり感謝しております。 ・親切で話しやすい方ばかりで満足しています。

◎その他

苦情受付箱があるのは知っていますか？	・知っている 11名 ・無回答 3名 ・どこにあるか知らない 1名
その他、不便や不具合、ご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。	・食堂テーブル上

イ. 食事

食事サービスはケアハウスの提供するサービスの大きな柱でもあり、入所者がケアハウスでの生活を選択した理由の大きな要因と考えられます。日々の献立に季節の旬な食材を取り入れたり、行事食も豪華に目でも楽しめるように配慮しています。

日常の食事の状況や入所者との会話、嗜好調査等を通じて、個々のニーズを把握し、より美味しく、より楽しい食事を提供できるよう雰囲気や環境づくりにも配慮しています。

委託業者(株)日総とは毎月定例的に給食会議を開き行事食はもとより、日常の献立や調理員の接遇についても検討を重ねています。

また、咀嚼力の低下とともに食事動作の衰えも懸念され、調理方法・補助具による対応など、職員間のみならず(株)日総との連絡を密にし、適切な対応を心掛けています。

資 料

※入所者の要望により、おかゆの提供を行っています。

- ・ 毎食おかゆ1名
- ・ 夕食のみおかゆ2名

※嗜好調査(H28年12月実施)

- ・ 回答数 20名中/15名回答

◎ご飯の硬さはどうですか？

硬い	3	ちょうど良い	11	やわらかい	0
その他	1				

◎みそ汁の温度について？

あつい	0	ちょうど良い	11	ぬるい	3
その他	1				

◎みそ汁の味付けについて？

しょっぱい	5	ちょうど良い	6	うすい	2
その他	0	無回答	2		

◎副菜（おかず）の味付けはどうですか？

しょっぱい	5	ちょうど良い	6	うすい	2
その他	0	無回答	2		

◎副菜（おかず）のかたさはどうですか？

かたい	5	ちょうど良い	8	やわらかい	2
-----	---	--------	---	-------	---

◎毎日の食事はどうですか？

満足している	3	普通	11	不満がある	1
不満につけた方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 似たメニューが多い ・ 盛りつけが不満 ・ 味付けが悪い ・ その他（とても良いです） ・ 好きな物がない 				

◎献立に変化があり工夫されていますか？

工夫されている	9	もう少し変化をつけてほしい	6
---------	---	---------------	---

◎おかず（肉・魚・野菜料理）について教えてください。

シンプルなメニューが良い	9	凝ったメニューが良い	1	無回答	5
--------------	---	------------	---	-----	---

◎好きなおかずを書いて下さい。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼き魚（サンマ・鮭・鯖） ・ ポテトサラダ ・ マカロニサラダ ・ 煮付け ・ 野菜料理 ・ 肉料理 ・ アスパラ ・ キャベツ ・ 人参 ・ 大根 ・ ブロッコリー

◎嫌いなおかずを書いて下さい

<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅干し ・ 塩辛 ・ 鮭のホイル焼き ・ かたい肉
--

◎めん類は1週間または月に何回食べたいですか？

週1回⇒7・週2回⇒3・月1回⇒1・たまにでいい⇒2・無回答⇒3

◎麺類の時はご飯を付けてほしいですか？

付けてほしい	1	付けなくていい	1 2	無回答	2
--------	---	---------	-----	-----	---

◎パン食は週または月に何回食べたいですか？

週1回⇒4・月1回⇒1・月2回⇒6・たまにでいい⇒1

◎食事のメニューについて感じたことがあれば書いて下さい。

- ・カレーライスがすっぱい時がある・肉より魚を多くしてほしい
- ・普通のメニューを多くしてほしい・もう少し生野菜が合っても良いと思う

◎その他、普段気になっている事・食事に対してのご意見ご要望等があれば書いて下さい。

- ・量が多かったり、少なかったりする・しょっぱい魚の入った煮物
- ・しょっぱい焼き魚にしょっぱい味噌がのってる・お浸しが固い
- ・ご飯に対しておかずの量が多い・フルーツを増やしてほしい
- ・みそ汁の具は厚揚げを使うなら、豆腐や揚げを使用してほしい
- ・みそ汁がこぼれている事がある

ウ. 入浴

月・水・金曜日を入浴日としています。シャワーは毎日使用できます。

現在のところは、入浴時の事故問題等はありませんが、危険を伴う入所者もおおり、事故の心配がないわけではありませんので、プライバシーに気を配りながら、見回りや見守り・入浴介助を行っております。入所者の高齢化に伴い、設備的にも安心・安全な入浴を確保するために浴室に手摺りを設置しています。

機能低下によって、訪問介護の利用も考慮しながら対応しています。

エ. 緊急時の対応

緊急時に対応するマニュアルを作成し、入所者に対しても避難訓練のほか、交通安全講習、健康相談等を行い、予防意識を高めています。

夜間については基本的には職員の勤務体制はないため、(株)アイビックスに委託し警備体制を整えています。場合により入所者対応もありうることを前提に、警備員との連携を図っています。

オ. 在宅福祉サービスの利用

現在、6名が介護保険制度の訪問介護・通所サービス・福祉用具貸与(歩行器・手押し車・手摺りを貸与)を利用しております。今後も入所者が援助及び介護を要する状態になった場合は、介護保険の適用のための要介護認定、医療機関への連絡、家族との調整等の対応を図り、関連諸制度の活用を図ってまいります。

カ. 保健衛生

健康の保持・管理は、介護予防に直結するため、自己管理を基本としながらも、日常生活の中で体調の把握に努め、疾病や通院、服薬等の状況を確認し、適時助言等行っています。また、保健支援マニュアルを作成し、意識の高揚を図り、細心の注意を払っています。

健康診断の情報を提供し、受診を勧めたり、毎月1回保健師による健康相談を行ったり、自己判断に偏らない機会を設けています。また平取国保病院との連絡体制を強化し、受診時の重要な連絡事項・医師の助言を連絡していただくこととし、家族とのパイプ役を担っています。

感染症等の予防には、その都度必要に応じて打合せを行っています。また、関係機関の研修会に積極的に参加し情報を収集して、入所者に対しても手洗いの重要性の啓蒙活動を行い、インフルエンザ・ノロウイルス感染予防に努めております。

資 料

※入院者数

入 院 先	男 性	女 性
平取国保病院	1 名	1 名
苫小牧市内		
札幌市内	1 名	

※通院状況

通 院 先	男 性	女 性
平取国保病院	4 名	15 名
苫小牧市内	4 名	4 名
むかわ町内		
富川町内	1 名	

キ. 入所者の活動への協力

しずかでの生活に慣れるにつれ、それぞれが自分の生活リズムを取り戻し、個々の活動が見受けられるようになりました。それぞれが異なる生活習慣を持ち、それぞれの趣味や嗜好がある中、共通の楽しみを見つけ共に活動したり、地域の集まりに参加したりしています。

健康・安全・安心・介護予防の観点から助言等を行い、入所者の自主的活動に協力しています。

(3)日課表

通年通して日課表どおり実施することができました。

ケアハウス しずか 日課表

時 間	内 容
	起床
7 : 4 0	ラジオ体操
7 : 4 5	朝食
8 : 3 0	下膳 余暇 (娯楽・ゲーム)
1 1 : 4 5	軽体操・健口体操
1 2 : 0 0	昼食
1 2 : 4 5	下膳
1 3 : 0 0	余暇 (娯楽・ゲーム・軽体操) 入浴 (月・水・金) 13:00~17:00
1 7 : 3 0	夕食
1 8 : 1 5	下膳

(4)平成28年度 年間行事報告書

8月に予定していた「しずかふれあいサロン」以外は全て実施する事ができました。

年	月	日	行 事 名
28	4	1	開設記念日 職員会議
	4	4	給食会議
	4	5	脳トレ
	4	6	カラオケ
	4	7	健康相談・血圧測定 施設内ゲーム
	4	10	町外ドライブ（厚真町）
	4	11	五月人形飾り
	4	12	脳トレ 手芸
	4	13	カラオケ
	4	14	百人一首
	4	19	脳トレ
	4	20	カラオケ
	4	21	誕生会 施設内ゲーム
	4	26	脳トレ
	4	27	カラオケ
	4	28	ビデオ鑑賞 第1回入所判定会議
	4	30	18日から30日まで熊本地震義援金募金活動
	5	2	さくら会計訪問監査
	5	6	五月人形片付け
	5	8	母の日（宇南山生花店よりカーネーション寄贈） 町外ドライブ（新ひだか町 桜見学）
	5	9	エレベーター保守点検
	5	10	法人定例監査・決算監査 脳トレ
	5	11	給食会議 カラオケ

5 月 12 日	健康相談・血圧測定
5 月 16 日	施設内ゲーム
5 月 17 日	脳トレ
5 月 18 日	カラオケ
5 月 19 日	ぬりえ
5 月 24 日	脳トレ
5 月 25 日	いきいき100歳体操 カラオケ
5 月 26 日	職員会議 しずか花見会
5 月 29 日	町外ドライブ（早来町 菜の花畑見学）
5 月 30 日	しずか花壇除草
5 月 31 日	バチラー保育園交流 町外ドライブ（早来町 菜の花畑見学） 脳トレ
6 月 1 日	カラオケ
6 月 2 日	町外ドライブ（穂別町 つつじ見学）
6 月 3 日	町外ドライブ（穂別町 つつじ見学）
6 月 6 日	給食会議
6 月 7 日	脳トレ
6 月 8 日	居室点検
6 月 9 日	健康相談・血圧測定 しずか遠足（ゆから温泉）
6 月 10 日	百人一首
6 月 12 日	町外ドライブ
6 月 14 日	脳トレ 施設内ゲーム
6 月 15 日	カラオケ
6 月 16 日	ゆから温泉入浴
6 月 17 日	交通安全教室
6 月 19 日	父の日（宇南山生花店よりガーベラ寄贈）
6 月 20 日	富川買い物ツアー
6 月 21 日	脳トレ むかわ買い物ツアー
6 月 22 日	カラオケ

6 月 23 日	コグニサイズ
6 月 27 日	職員会議 口腔ケア講習
6 月 28 日	避難訓練 しずか花壇整理
6 月 29 日	しずか花壇花植え
6 月 30 日	占冠温泉入浴
7 月 4 日	給食会議
7 月 5 日	脳トレ
7 月 6 日	カラオケ
7 月 7 日	健康相談・血圧測定 参議院選挙期日前投票随行
7 月 8 日	参議院選挙期日前投票随行
7 月 11 日	施設内ゲーム さくら会計訪問監査
7 月 12 日	脳トレ
7 月 13 日	手芸
7 月 14 日	いきいき100歳体操 居酒屋しずか
7 月 19 日	脳トレ 誕生会
7 月 20 日	カラオケ
7 月 21 日	職員会議 ゆから温泉入浴 ぬりえ
7 月 22 日	法人定例監査
7 月 25 日	しずか花壇除草
7 月 26 日	施設外昼食会(くろべこ) 職員会議
7 月 27 日	カラオケ
7 月 28 日	施設外昼食会(富川 五行山)
7 月 29 日	施設内ゲーム
8 月 2 日	脳トレ 自動ドア保守点検
8 月 3 日	ボイラーろ過機点検

8 月 4 日	カラオケ 健康相談・血圧測定 七夕飾り
8 月 5 日	ボイラー保守点検 給食会議
8 月 7 日	受水槽点検
8 月 9 日	脳トレ 居室点検
8 月 10 日	カラオケ
8 月 18 日	ゆから温泉入浴
8 月 22 日	施設内ゲーム エレベーター保守点検
8 月 23 日	脳トレ 居酒屋しずか
8 月 24 日	カラオケ
8 月 25 日	職員会議 むかわ買い物ツアー
8 月 30 日	脳トレ
8 月 31 日	カラオケ
9 月 1 日	健康相談・血圧測定
9 月 2 日	給食会議
9 月 5 日	百人一首
9 月 6 日	脳トレ
9 月 7 日	カラオケ
9 月 8 日	ゆから温泉入浴
9 月 9 日	浄化槽点検
9 月 10 日	本町敬老会
9 月 13 日	脳トレ
9 月 14 日	カラオケ
9 月 15 日	しずか敬老会兼誕生会 平取民謡三絃会訪問
9 月 16 日	手芸
9 月 19 日	宇南山生花店より敬老会の日フラワーアレンジ寄贈
9 月 20 日	脳トレ
9 月 21 日	カラオケ

9 月 23 日	職員会議 防災訓練
9 月 27 日	施設内ワックス掛け・外窓清掃
9 月 28 日	カラオケ
9 月 29 日	施設内ゲーム 平取婦人会慰問
9 月 30 日	さくら会計訪問監査
10 月 4 日	脳トレ
10 月 6 日	健康相談・血圧測定
10 月 7 日	二風谷歴史館見学（富内線展示物） 給食会議
10 月 11 日	脳トレ
10 月 11 日	入所者健康診断
10 月 12 日	ぬりえ
10 月 13 日	ゆから温泉入浴
10 月 14 日	入所者健康診断
10 月 17 日	入所者健康診断
10 月 18 日	紅葉ドライブ バチラー保育園交流
10 月 19 日	紅葉ドライブ カラオケ
10 月 20 日	百人一首 避難訓練（夜間想定）
10 月 21 日	入所者健康診断
10 月 24 日	法人定例監査 入所者健康診断
10 月 25 日	脳トレ
10 月 26 日	しずか花壇片付け・チューリップ球根植え カラオケ
10 月 27 日	施設内ゲーム
10 月 28 日	職員会議 誕生会 入所者健康診断
10 月 29 日	文化講演会
10 月 31 日	居室点検

11 月 1 日	脳トレ 文化祭飾り付け
11 月 2 日	文化祭見学（本町地区・貫気別地区）
11 月 3 日	文化祭片付け
11 月 4 日	さくら会計訪問監査
11 月 8 日	脳トレ
11 月 9 日	健康相談・血圧測定 カラオケ
11 月 13 日	きみかげ草慰問
11 月 15 日	脳トレ エレベーター保守点検
11 月 16 日	カラオケ インフルエンザ予防接種 入所者健康診断
11 月 17 日	給食会議
11 月 17 日	インフルエンザ予防接種
11 月 18 日	インフルエンザ予防接種
11 月 24 日	交通安全教室 インフルエンザ予防接種
11 月 25 日	誕生会 職員会議
11 月 26 日	百人一首
11 月 29 日	脳トレ 施設外昼食会（じゃんけんぽん）
11 月 30 日	芳誠会慰問 カラオケ
12 月 1 日	健康相談・血圧測定 施設外昼食会（じゃんけんぽん）
12 月 2 日	施設外昼食会（じゃんけんぽん）
12 月 3 日	手芸 クリスマスツリー飾り
12 月 6 日	脳トレ
12 月 7 日	施設内年末大掃除
12 月 8 日	むかわ買い物ツアー
12 月 9 日	給食会議

12 月 13 日	寄附金贈呈（日高西部農協機械センター）
12 月 14 日	カラオケ
12 月 15 日	むかわ買い物ツアー
12 月 20 日	脳トレ 施設内ゲーム
12 月 21 日	さくら会計訪問監査
12 月 22 日	クリスマス会・誕生会
12 月 26 日	クリスマスツリー片付け
12 月 28 日	もちつき 職員研修会
12 月 29 日	浄化槽保守点検
12 月 31 日	年越し会
29 年 1 月 1 日	新年恒例会
1 月 10 日	脳トレ
1 月 11 日	カラオケ 浄化槽点検（北海道浄化槽協会）
1 月 12 日	健康相談・血圧測定
1 月 13 日	給食会議
1 月 17 日	脳トレ
1 月 18 日	カラオケ
1 月 19 日	いきいき100歳体操
1 月 24 日	脳トレ
1 月 25 日	職員会議 誕生会
1 月 26 日	施設内ゲーム
1 月 31 日	法人定例監査
2 月 1 日	カラオケ
2 月 2 日	健康相談・血圧測定
2 月 3 日	節分豆まき 給食会議
2 月 4 日	しずか雪あかり
2 月 7 日	脳トレ
2 月 8 日	カラオケ
2 月 9 日	バチラー保育園交流
2 月 10 日	手芸

2 月 14 日	ひな人形飾り 脳トレ 自動ドア保守点検 エレベーター保守点検
2 月 15 日	カラオケ
2 月 21 日	さくら会計訪問監査 脳トレ
2 月 22 日	ぬりえ
2 月 23 日	職員会議 誕生会 ボイラー保守点検 施設内ゲーム
2 月 28 日	脳トレ
3 月 1 日	カラオケ
3 月 2 日	健康相談・血圧測定
3 月 4 日	ひな人形片付け
3 月 7 日	脳トレ
3 月 8 日	富川・むかわ買い物ツアー
3 月 9 日	いきいき100歳体操 居室点検
3 月 10 日	給食会議
3 月 14 日	脳トレ
3 月 15 日	カラオケ
3 月 21 日	誕生会 施設内ゲーム
3 月 22 日	ビデオ鑑賞
3 月 23 日	施設内ワックス掛け・外窓清掃
3 月 24 日	とまと舞踊会慰問
3 月 28 日	脳トレ 福祉バス・温泉入浴券に関する説明会 浄化槽点検
3 月 29 日	職員会議 職員研修会 カラオケ

4. 研修計画

当施設入所者の適切なサービス計画書作成のためにも、職員の専門的なスキルアップが肝要であることから、各種研修会等の参加に努めて参りました。

(1)施設内研修

随時情報交換を行い、同じ福祉施設内で働く職員として共通理解・共通認識に努めてまいりました。

- ①定例の職員会議の開催
- ②施設外研修・会議等の報告会の開催
- ③毎日のサービス提供記録簿に基づく反省・評価

(2)施設外研修

軽費老人ホームの今後のあり方として、社会的援助を要する高齢者の受け皿的な役割を果たしていかなければならないことに鑑み、専門性の高い人材（社会福祉士・精神保健福祉士）を確保していくことが必要であることから、自主的な資格取得等の研修が受けられるように努めるとともに、スキルアップのための研修会・講習会への参加を促進してまいりました。

- ①行政機関・民間及び財団が主催する研修会・講習会等への参加。
- ②町内福祉サービス事業所（指定通所介護事業・指定訪問介護事業・居宅介護支援業等）の視察と意見交換会の実施

5. その他

(1)入所者年代構成表(平成29年3月31日現在)

	男 性	女 性	合 計
60歳代		2名	2名
70歳代	1名	2名	2名
80歳代	3名	8名	12名
90歳代	1名	3名	4名
計	5名	15名	20名
平均年齢	82.6歳	83.3歳	83.1歳

(2)入所者前住所別構成表(平成29年3月31日現在)

		男 性	女 性
平取町	荷 菜		2 名
	本 町	1 名	5 名
	振内町	4 名	6 名
	川 向		1 名
室 蘭			1 名
計		5 名	15 名

(3)入所者要介護度構成表(平成29年3月31日現在)

階 層	男 性	女 性
要支援1		1名
要支援2	1名	
要介護1		2名
要介護2		2名
計	1名	5名

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会
相談支援事業所「なないろ」

事業報告書 目次

1. はじめに	1
2. 経営計画に関わる概要	1
3. 相談等の実施実績	1
① 実施日数	1
② 相談受付ルート	1
③ 相談方法の状況	1
④ 障害別利用件数	1
⑤ 相談内容	2
4. 相談種別件数	2
① 基本相談のみ	2
② 特定相談(サービス等利用計画)	2
③ 特定相談(継続サービス等利用計画)	2
④ 一般相談(地域定着)	2
⑤ 認定調査	2
5. 緊急対応及び虐待防止対応	2
6. 区分認定調査	2
① 調査実績	2
7. 職員研修等	2
① 情報交換及び勉強会	2
② 研修	2

1. はじめに

平成28年度の事業といたしましては、福祉サービスを利用している障害者への相談計画書作成及びモニタリング若しくは高等学校卒業予定者への進路相談及び計画作成等を主に行い、地域定着支援事業も保健師やその他の関係機関と連携して行なってきました。

計画書の作成するにあたり、高等学校の卒業予定者との面談を行いますが、幼少時期から面識があるほうが、より正確な情報をまとめて次の事業所（職場又は施設等）につなぐことができます。現在の障害児童への対応は、療育センターが中心になって活動をしており、1,2度の面談で計画書の作成をすることが実際であります。

情報に誤りがあると、障害者本人に負担がかかります。そうならないためにも、療育センターに連携・協力をお願いして、障害児童本人、その家族及び学校との関わりを持てるよう努めたいと思っております。

2. 経営計画にかかわる概要

平成28年度の経営の基本方針をもとに、平取町から委託を受けた基本相談と、平取町指定の特定相談支援事業・障害児相談支援事業、道指定の一般相談支援事業（移行・定着）、その他、各市町村からの委託契約で行う認定調査や必要に応じて他町村との連携等で事業を行ってきました。

3. 相談等の実施実績

① 実施日数 235日

② 相談受付ルート

- ・ 障害福祉サービス事業所
- ・ 他町村の相談支援事業所
- ・ 行政機関
- ・ 病院
- ・ 家族
- ・ 学校

③ 相談方法の状況

方法	電話	訪問	同行	来所	計
延件数	306	619	18	95	1038

※下記の4点は上記に含む

- ・ 関係機関情報提供・調整
- ・ 家族の相談、会議
- ・ 地域定着支援者 2件
- ・ 認定調査

④ 障害別利用延件数

	知的障害	精神障害	身体障害	発達障害	その他
障害者	757	96	45	0	8
障害児	124	0	0	0	8
計	881	96	45	0	16

計 1038件

⑤ 相談内容

内容	延件数	内容	延件数
福祉サービスの利用関係	382	社会参加関係	23
障害や病状の理解関係	12	余暇活動関係	141
健康・医療関係	218	権利擁護関係	4
不安の解消・情緒安定関係	77	住宅環境関係	25
保育・教育関係	0	施設利用・案内関係	37
家族・人間関係	232	情報提供・確認等関係	383
家計・経済関係	72	行政・制度の説明関係	37
生活技術関係	106	手帳・年金・申請関係	20
移動関係	8	その他の福祉関係	2
就労関係	237		
社会資源の活用関係	48	計	2064

4. 相談種別件数（延数）

① 基本相談のみ	687件
② 特定相談（サービス等利用計画案及び計画作成）	85件
③ 特定相談（継続サービス等利用計画作成（モニタリング））	178件
④ 一般相談（地域定着）	86件
⑤ 認定調査	2件
	計 1038 件

5. 緊急対応及び虐待防止対応 0件

6. 区分認定調査 調査実績 2件（函館市 帯広市）

7. 職員研修等

①情報交換及び勉強会

- ・日高圏域相談支援連携会議・生活困窮者相談支援事業会議
～日高管内の同事業者（相談支援事業）が集まり、情報交換や事例検討会を月1回開催しています。
- ・医療と福祉の連携会議
～日高管内の同事業者（相談支援事業）と病院（新ひだか町・石井病院）との連携がスムーズに行われるよう、医療と福祉の連携会議を定期的で開催し、日高圏域地域生活移行支援協議会で検討依頼と現状報告をしています。

②研修

福祉サービス業に係る集団指導をはじめとし、発達障害・依存症・障害支援等に係る研修及び虐待防止・障害者雇用支援・差別解消法等の権利擁護に係る研修、その他、地域生活における連携及び情報交換並びに生活保護世帯等支援等の勉強会及び会議等に参加いたしました。